

総務厚生常任委員会

自分達の地域は自分達でつくる



健康福祉センター駐車場

① 防災計画策定
後、平成23年度（有）ケイエスしらたかの事業報告の
② 6月11日に本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査を行いました。
③ 置賜総合支庁西庁舎の充実と機能強化をはかる請願は、法務局の例があるように不便が増し行政運営や町民の利便性にも影響があるとして採択となりました。
④ 脳脊髄液減少症の医療に関する請願は、窓口負担無料化に関しては慎重にこの意見もありましたが採択となりました。

② ドクターヘリ配備計画
③ 地域コミュニティセンターの推進
④ 庁舎等再配置計画策定
⑤ エネルギープロジェクト事業などについて各担当課から説明を受けました。
① では、委員からの「自助」の意識付け、受け入れ態勢をどうするのかとの問いに対し、「自助」に関してはおわかりやすい言葉を用いて意見を取り入れながらすすめていきます。ボランティアなどの受け入れや派遣などは社会福祉協議会が行っているのが一般的状況ですが、区分けを考慮し防

災計画のなかで整理しますとの答弁がありました。
② では、山形県のドクターヘリは本年12月より開始され、山形県立中央病院が基地病院となるとの説明がありました。委員からの、臨時離着陸場として町内の候補地19ヶ所の確認作業は実施済みかと、県防災ヘリ「もがみ」との関わりはどうかとの問いに対して、本町としては健康福祉センター駐車場、荒砥高校グラウンドが有効とされていますが検討し集約していきます。また、防災ヘリは救助を主とするものでありドクターヘリは医療行為を行うことであり、先進地事例などを参考に調整をはかっていますと答弁がありました。
③ では、委員から、組織の維持が困難な現状で、町民の理解が得られる推進策はとの問いに対して「自分達の地域は自分達でつくる」という意識の醸成や組織づくりが課題です。社会教育法のもとで公民館活動を行ってきた経緯や地域間の差を理解し慎重にすすめる必要があります。今後、地域

などではない説明を粘り強く行っていきたいですとの答弁がありました。
④ では、9月議会に中間報告、12月議会に成果報告を「白鷹町庁舎等施設再配置計画」を24年度中に策定するとの説明がありました。委員から、消防分署の建設年度と分署建設とデジタル化の一体的推進はとの問いに、年度はまだ決まっています。情報機器のデジタル化は二重投資をさけるのが課題との答弁がありました。

⑤ では、小水力発電の実証実験をどこで行うのかの問いに、安定的な水量の確保、ある程度の落差、公共施設に近いところなどを考慮して、深山と黒鴨地区で水量調査を行っているとの答弁がありました。
※ 本庁舎、分庁舎、中央公民館、図書館、（仮称）防災センター、西置賜行政組合白鷹分署と付随する行政施設



役場庁舎 周辺